

# 道徳の木 (8月)

R2. 8. 31 文責：清和中学校道徳担当 酒井健太郎



## ○ 今月の道徳授業の紹介です！

今月の授業を紹介します。今月も各学年の授業で、生徒一人一人が深く考えたり、いきいきと自分の考えを発表したりする姿が見られました。生徒の感想を紹介します。

1年 友達とともに 「班での出来事」	2年 互いに支え合う社会 「今度は私の番だ」	3年 神秘の世界へ 「ハッチを開けて、知らない世界へ」
<p>【生徒の感想】</p> <p>○意見がまとまらないのは、相手のマイナスなところをばかりを見ているのが原因だと思いました。相手のプラスなところを見つけていき、注意していくところは注意していくことで、本当の友情が生まれるんだなと思いました。</p> <p>○男子と女子では意見が合わないことは本当にたくさんあると思います。でも、だからこそ相手の気持ちを知ったり、聞いたりして理解してお互いに分かり合うことが大事だと思いました。人は誰でもほめられると嬉しいから、相手のいいところを見つけていきたいです。</p>	<p>【生徒の感想】</p> <p>○自分もお世話になった人たちに、たくさん恩返しをしていきたいです。あと、地域の行事にもたくさん参加していきたいです。</p> <p>○自分は、地域の人への挨拶などがあまり良くなかったと思うので、これから少しずつ良くしていきたいと思いました。</p> <p>○佐藤真海さんのように恩を恩で返せるのはすごいことだなと思いました。</p> <p>○今から、もしくは大人になってからでも自分が育った地域に役立つ何かを続けたいなと思いました。</p>	<p>【生徒の感想】</p> <p>○やっぱり経験していないと分からないし、経験した時に感じることはすごいものだと思います。まだ15年くらいしか生きてないけど、これから心動かされる出来事がたくさんあるといいなと思いました。</p> <p>○野口さんが宇宙から見た地球を僕も見たいと思いました。そして心を動かされた瞬間にも個人差があると思いました。</p>

## ○ 家庭道徳の取組でのコメントを紹介します！

毎月第1週の週末に実施しています家庭道徳の取組へ、ご協力いただきありがとうございます。今回は、つなぐ(熊本地震関連教材)の「そのとき～私の父と母～」をお読みいただき、お子さんと感じたことを交流していただきました。各学年から数名、保護者の方のコメントを紹介させていただきます。

### (心に残った場面)

非常時にも関わらず、家族のことを思ってとった、とっさの判断。その中になさんのカバンとサブバックがあったこと。

### (理由・感じたこと)

震災の時、自分は何もできなかった。今後大災害が起きた時、自分は家族のことを守れるような行動ができるのか考えさせられた。

### (心に残った場面)

母の足元には、娘のカバンがあったところ。

### (理由・感じたこと)

どんな時も、自分よりも子どもを守り、子どもの未来を守る人はすごいなと思いました何気ない日々が、本当はとってもありがたいことを知ってもらいたいです。親は、子どもを必死で守るものですよ。

### (心に残った場面)

娘の大切なものを母が持っていたところ。

### (理由・感じたこと)

地震を経験して、あの時に私も同じようにできたかなあと思い出しました。

### (心に残った場面)

最後のページ半分の部分。

### (理由・感じたこと)

自分のこと以上に子どもの大事な物を持ち出せる自信がない。ただ、地震が起きた時に大きな揺れの中、車を車庫から出したり家の中へ毛布を取りに行ったりした私の姿を、我が子は覚えていてくれました。不安な中でも、誰かのために動ける人になってほしいです。

### (心に残った場面)

「こんな時に着替えなんてしなくていい。」といった場面。

### (理由・感じたこと)

大切なものがいろいろある中でも、かなちゃんの命が何より大事なんだとお父さんは思ったと思うから。

### (心に残った場面)

「こわかったねえ、のどかわいたろ。」と言って、スーパーの袋からペットボトルを出した場面。

### (理由・感じたこと)

どんな時でも周りの人に共感できる人でありたいと思いました。



保護者との交流を通して様々な考え方にふれることで、生徒が考えを深めることができました。たくさんのご感想をお寄せいただき、大変ありがとうございました。

## ○ 次回の家庭道徳の日のお知らせ

次回の家庭道徳の日の取組が、今週末に実施されます。次回の内容は、熊本の心「一足の古たび」です。前回と同じようにプリントをお配りしますので、お忙しい中だと思いますが、生徒と一緒に考えるお時間をとっていただけると幸いです。

9月7日(月)までの提出をお願いします。

